

子育て環境長崎市2位

中核市部門 乳児家庭訪問など評価

11年度NPO調査

子育てなどを支援するNPO法人「エガリテ大手前」（東京都）が発表した2011年度の「次世代育成環境ランキング」中核市部門で、長崎市が過去最高の総合2位となった。「人口の少ない都市が評価される傾向にある中、中核市では比較的大規模であるにもかかわらず、安定して上位に入る」と評価され「優秀環境賞」も受賞した。

同法人は男女共同参画「設立、同ランキングを05年社会推進を目的に04年に1年度分から発表している

同市の田中智子子ども部長は「ソフト面の支援をさらに充実させたい」と話している。中核市部門の1位は北海道函館市、3位は福岡県久留米市。政令市部門では、北九州市が1位だった。

の都市規模別に、保育所数や保育所で働く人の数などを分析する。

長崎市の総合順位は09年度が3位、10年度は5位。11年度は学童クラブ所数と日曜祝日昼間の小児救急施設数が、1人あたりでそれぞれ2位。妊産婦への歯磨き指導などをする「歯っぴいベビー」を年80回行い、乳児のいる家庭を民生委員らが訪問する「こんにちは赤ちゃん」の実施率が85・1%だったことも評価された。



妊産婦を対象に歯磨き指導する長崎市の「歯っぴいベビー」